

北薩感染症情報

2025年第34週(8月18日～8月24日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎：警報発令中 ○：注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報 レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開 始 基準値	終 息 基準値	基準値	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前 週 からの 増 減	警 報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前 週 からの 増 減	警 報 注意報
		定点報告数												
急性呼吸器感 染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	93	260	86.67	↗	—	43	83	41.50	↗	—
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	2	1	0.33	↓	—	—	—	—	→	—
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	38	78	26.00	↗	—	6	25	12.50	↗	—
小児科定点	RS	—	—	—	2	6	3.00	↗	—	—	—	—	→	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	—	1	0.50	↗	—	—	1	1.00	↗	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	1	—	—	↓	—	4	2	2.00	↓	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	6	2	1.00	↓	—	1	1	1.00	→	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	—	17	8.50	↗	◎	1	1	1.00	→	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	1	—	—	↓	—	4	2	2.00	↓	◎
	突発性発疹	—	—	—	—	3	1.50	↗	—	1	1	1.00	→	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	2	1	0.50	↓	—	1	2	2.00	↗	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	／	／	／	／
流行性角結膜炎		8.0	4.0	—	3	4	4.00	↗	—	／	／	／	／	／
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—	—	—	／	→	—	—	—	／	→	—
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—	—	1	／	↗	—	1	4	／	↗	—
報 告 数 合 計		—	—	—	148	374	／	↗	／	62	122	／	↗	／

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 手足口病(警報レベル)
- ・出水保健所管内 伝染性紅斑(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 結核2例 百日咳3例 追加 梅毒2例(33週)
- ・出水保健所管内 百日咳1例

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

警報発令中 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	97.00	83.33	80.33	79.67	99.00	82.00	92.33	90.00	31.00	86.67
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.33	—	—	—	—	—	—	—	0.67	0.33
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	0.67	1.33	3.33	2.00	6.00	12.67	17.67	19.33	12.67	26.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.50	0.50	1.50	0.50	—	1.00	0.50	—	1.00	3.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.50	3.00	2.50	0.50	0.50	0.50	1.00	1.00	—	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.50	3.00	0.50	1.50	0.50	0.50	—	1.00	0.50	—
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	4.50	7.50	8.50	4.00	5.00	6.50	4.00	7.00	3.00	1.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	1.50	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	0.50	—	—	—	—	0.50	—	—	—	8.50
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	—
	突発性発疹	—	—	2.50	1.50	0.50	1.00	0.50	0.50	—	—	—	1.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	1.50	5.00	7.00	7.50	5.00	4.50	1.50	1.00	0.50
眼科定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	3.00	2.00	3.00	1.00	—	—	1.00	2.00	3.00	4.00
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W	34W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	39.50	40.50	32.00	43.50	50.00	39.00	28.00	37.00	21.50	41.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	0.50	2.50	3.00	5.00	6.50	5.50	4.00	5.50	3.00	12.50
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	—	—	2.00	2.00	—	1.00	1.00	—	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.00	3.00	—	1.00	1.00	—	—	—	—	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	1.00	2.00	1.00	—	1.00	2.00	5.00	4.00	2.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	6.00	4.00	3.00	1.00	—	1.00	—	—	1.00	1.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	2.00	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	1.00	3.00	3.00	—	2.00	—	1.00	1.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	1.00	—	2.00	1.00	1.00	—	1.00	1.00	4.00	2.00
	突発性発疹	—	—	1.00	2.00	1.00	—	1.00	2.00	1.00	—	1.00	1.00
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	1.00	—	4.00	1.00	15.00	8.00	12.00	8.00	1.00	2.00
基幹定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	1.00	—	—	—	2.00	—	—
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第34週において、川薩保健所管内では手足口病、出水保健所管内では伝染性紅斑が警報発令中です。

川薩保健所管内及び出水保健所管内においても、新型コロナウイルス感染症の報告が増加中です。手洗い・うがい、咳エチケットなど基本的な感染対策を心がけましょう！

新型コロナウイルス感染症の報告が増えています！

- ・エアロゾル感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染

新型コロナウイルス感染症とは...？

重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2 (SARS-CoV-2) による感染症です。2020年1月30日にWHOにより国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態が宣言されましたが、2023年5月4日に解除されました。日本でも2023年5月8日に5類感染症に移行しました。ウイルスが変異するので、流行を繰り返しています。

症状: 発熱, 咳, 鼻水, 咽頭痛, 倦怠感, 頭痛, 関節痛, 筋肉痛, 嗅覚・味覚異常, 下痢

予防: 換気, 3密(密接場面・密集場所・密閉空間)回避, 状況に応じたマスクの着用, 石けんを使った手洗い, アルコール製剤を使った手指消毒。高齢者などの重症化リスクの高い方にはワクチンの接種が勧奨されています。

どうやってうつるの...？



感染者の口や鼻から、咳、くしゃみ、会話等のときに排出されるウイルスを含む飛沫、またはエアロゾルと呼ばれるさらに小さな状態の粒子を吸入するか、目、鼻、口に直接的に接触することにより感染します。物や指についたウイルスが目、鼻、口に接触することで感染することもあります。

社会福祉施設等において感染症が発生した場合の報告基準

ア 同一の感染症もしくは食中毒によるまたはそれらによると疑われる死亡者または重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合

イ 同一の感染症もしくは食中毒の患者またはそれらが疑われる者が10名以上または全利用者の半数以上発生した場合

ウ ア及びイに該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

参考資料

新型コロナウイルス感染症 (forth.go.jp)

・社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について(◆平成17年02月22日健発第222002号雇児発第222001号社援発第222002号薬食発第222001号老発第222001号) (mhlw.go.jp)

川薩保健所管内において手足口病の
報告が増えています！



手足口病とは？

口の中や、手足などに水疱を伴う複数の発疹が出る感染症です。

子どもを中心に、主に、夏に流行します。感染症発生動向調査によると、2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。成人を含めた小学生以上の大半は、すでにウイルスの感染（不顕性感染も含む）を受けている場合が多いため、成人での発症はあまり多くありません。

原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルスA6(CA6)、CA16、CA10、エンテロウイルス71(EV71)などです。

主な症状として...

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背（足の甲）などに水疱を伴う複数の発疹が出ます。発熱は38℃以下のことが多く高熱が続くことは通常はありません。しかし、まれに、中枢神経系や急性弛緩性麻痺など重篤な合併症を伴うことがあります。



感染経路として

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染が知られています。

特に、手足口病にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。子ども同士の生活距離が近く、濃厚な接触が生じやすい環境であり、ウイルスへの免疫のない子の割合が高いため、感染が起こりやすく、発症もしやすくなります。

予防と対策

- ・流水と石けんによる手洗い
- ・タオルの共有を避ける



手足口病は治った後も比較的長い期間便から排出されるため、日頃からの対策が大切です。

手や足、口の中などに
発しんはありますか？



手足口病

手足や口の中などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約3分の1で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。



感染してから数日後に口や手足の水疱(発しん)がみられます。

流行時期



を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

飛沫感染、接触感染、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入っ
感 染すること)が知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

感染経路

治療方法

手

足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- ☐ 高熱が2日以上続く
- ☐ 嘔吐する
- ☐ 頭を痛がる
- ☐ 視線が合わない
- ☐ 呼びかけに答えられない
- ☐ 呼吸が速くて息苦しそう
- ☐ 水分が取れずにおしっこがでない
- ☐ ぐったりとしている

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急(<http://kodomo-qj.jp/>)」などのWebサイトを参照したり、「#8000(こども医療電話相談)」にご相談ください。

- ✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
- ✓タオルの共用を避けましょう。
- ✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。また、感染しても発病しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

